



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発 行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 中川 孝文



vol. **新年号**

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

◎2026連合徳島新年旗開き

と き：2026年1月7日（水）

ところ：徳島グランヴィリオホテル

2026年 新年のご挨拶

『安心して働き暮らせる社会へ』

日本労働組合総連合会徳島県連合会

会 長 川 口 誠 二



新年あけましておめでとうございます。旧年中は連合徳島の運動に対し各別のご支援ご協力賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さて、2025年7月20日投開票で行われた第27回参議院議員選挙では、皆様からご支援いただき「広田はじめ」さんの再選を果たすことができました。ありがとうございました。比例代表では10人の組織内候補を擁立し闘いを展開しましたが、全員の当選とはなりません。今回の選挙結果により政権与党が衆参共に過半数を割り込んだことで、野党との協議が必要となり、強引な進め方ができなくなったことで、私たちの声が国政に反映されることを期待したいと思います。ただ、高市首相になったことにより経済政策等期待する部分はありますが、外交問題等が懸念されます。

2022春季生活闘争からスタートした「未来づくり春闘」は、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることを目標の一つとして位置づけ、中長期的視点から企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性を強く訴えてきました。2025春季生活闘争では、33年ぶりといわれた2024春季生活闘争結果を上回る5.25%、16,356円という結果となった一方、連合徳島集計では、加重平均全体で4.84%、15,428円、中小地場だけで見ると3.59%、9,270円という結果となり、連合全体・特に大手・中小との格差は年々拡大している現状です。また、2025闘争では労働組合の有無による賃上げ格差も広がりました。労働組合に集う仲間を増やすとともに、労働組合のない職場への波及力を一層高めなければ、賃上げのすそ野は社会全体に広がらず、働く仲間全体の生活向上は実現できません。多様な働く仲間に向けて「みんなの春闘」を展開し、労働組合だからこそ、労使対等の立場で労働条件などの交渉ができるという労働組合の存在意義を広く社会にアピールし、仲間を増やし、集团的労使関係を社会に広げる必要があります。

持続的な賃上げと格差是正が実現できる環境をつくっていくためには、適切な価格転嫁・適正取引実効性あるものとしなければなりません。これまでのサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配、働き方も含めた「取引の適正化」に連合本部、徳島県、徳島労働局、経営者団体と連携し取り組みます。

連合は「働くこと」に軸を置き、働く仲間一人ひとりの尊厳とくらしを「まもり」、働く仲間・地域社会を「つなぎ」、社会・経済の新たな活力を「創り出し」ていきます。そのためには、すべての働く仲間・生活者の身近な存在として、構成組織・組合員とともに力強く運動を展開してまいります。

今年が皆様にとって良い1年となりますようにお祈り申し上げますとともに、連合運動へのご理解ご協力をお願いし、新年のごあいさついたします。



謹賀新年



日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

あけましておめでとうございます。
日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

新年を迎え、新たな4半世紀がスタートしました。21世紀はグローバル化の時代と期待され、様々な分野でグローバル化が進展しました。経済は、24時間365日、途絶えることなく国境を超えた活発な活動が行われるようになり、第4次産業革命がそれに拍車を掛けています。世の中の動きは常にデータとして捕捉され、新たな価値を発掘することに繋がる一方、効率性を極限まで追求するような社会になりつつあります。

その結果、経済的格差の拡大が発生し、中間層の縮減、貧困層の拡大は世界的に大きな問題となっており、負のグローバル化も進展しました。また、環境問題も、世界各地で深刻な状況が続く、人々の生命を脅かしています。

次の4半世紀でどのような世界をつくっていくのか、その手綱は私たち一人ひとりの手にあります。今こそ、連合ビジョンをジブンゴトとして、私たちが自らこの世界をより良いものにしていくとの決意を新たに、その一歩を踏み出しましょう。

本年が皆さまにとってチャレンジングで、実り多い1年となりますことを祈念いたします。